

# 愛荘町観光物産振興計画【概要版】

## 展開する施策(アクションプラン)

- ① 宇曾川周辺の自然・水の利活用
  - 1 宇曾川渓谷等の自然環境を舞台にした子ども体験メニューの造成
  - 2 宇曾川渓谷ウォーキングツアー
  - 3 「愛荘八景(仮)」の選定・発信
  - 4 フットパスツーリズムの推進
  - 5 ふるさと交流体験
  - 6 湖東三山自然歩道の周知啓発等

- ② 産業・歴史文化の体験交流プラン造成
  - 7 子ども向け自由研究型ワークショップ
  - 8 宿泊型体験プランの造成
  - 9 伝統工芸・産業の企画展示
  - 10 伝統工芸・産業同士のコラボの促進
  - 11 共通テーマに基づく体験型ツアーの造成
  - 12 地域の伝統行事への観光客参画の仕組みづくり

- ③ 中山道周辺地域の再活性化
  - 13 空き家・空き店舗を活用した起業および事業承継、移住の推進
  - 14 観光周遊ルートの開発
  - 15 人が集い交流する仕掛けづくり
  - 16 中山道愛知川宿の歴史を学ぶまちあるき
  - 17 中山道ならではの土産品の開発

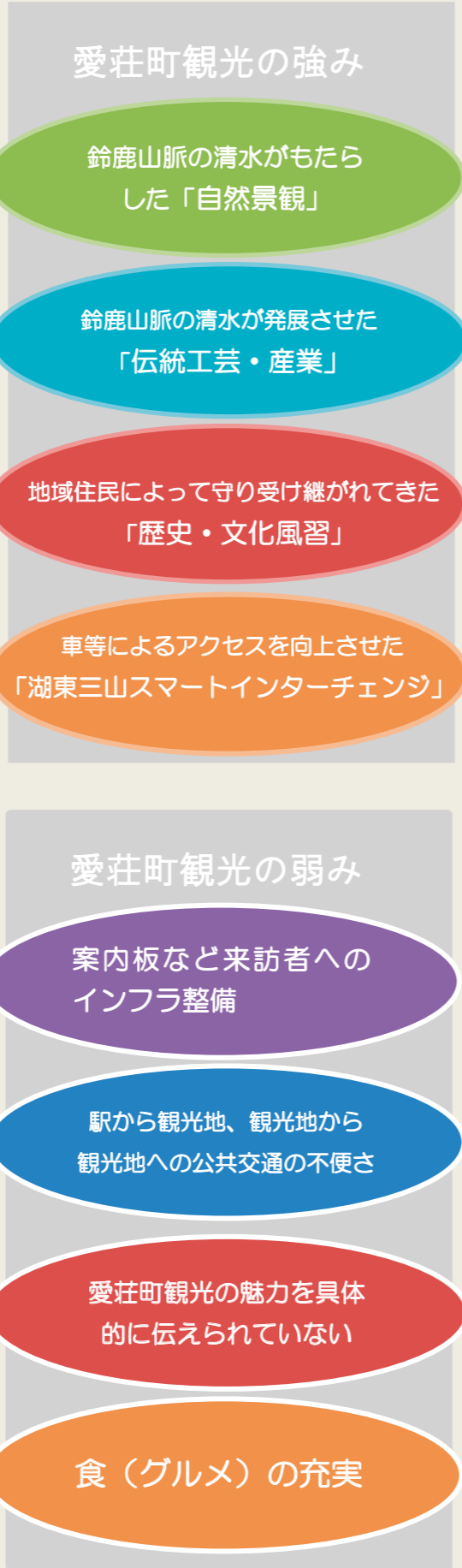
- ④ 観光資源の価値の理解を深めるデジタル重視の発信
  - 18 ホームページやSNSを活用した情報発信
  - 19 訴求力のある写真や動画を使った観光PR
  - 20 高速道路、道の駅の広報媒体の活用
  - 21 メディアの活用・連携による情報発信

- ⑤ ストーリー重視のワンチーム化
  - 22 町内地域資源のネットワーケ化
  - 23 広域連携の促進

- ⑥ 地域資源の魅力の住民への浸透
  - 24 子ども観光ボランティアガイドの育成
  - 25 愛荘町の歴史文化・産業等を学ぶ町民講座やツアーの開催
  - 26 小中学生に対する地域学習の一本化
  - 27 後継者育成の取組
  - 28 違った角度からの歴史文化の魅力発信
  - 29 集落にある自慢の宝をPRいただく機会の提供
  - 30 愛荘町に残る昔話の紙芝居による伝承
  - 31 プランターによるやまいも栽培体験

- ⑦ 地域の歴史文化の伝導師育成
  - 32 観光ボランティアガイドの育成
  - 33 観光ボランティアガイドの会員拡大・主要観光施設での常駐
  - 34 地域特有の言葉遣い(方言)を使ったおもてなし
  - 35 伝統工芸・産業にかかる後継者の育成
  - 36 若年層のアイデアの活用

- ⑧ 地域食材を利用した新しい特産品づくり
  - 37 愛荘町の食材を活かした特産品コンテスト
  - 38 町内観光施設・事業者と連携したオリジナル商品開発
  - 39 町特産品を味わえる食事場所の拡大
  - 40 地元学生等と連携した商品開発



◆計画策定の目的◆  
 本計画は、愛荘町が持つ豊富な地域資源を魅力ある観光資源へと進化させ、地域の活性化へとつなげていくことを念頭に置いて策定しました。

【1】地域経済の活性化  
 観光振興により交流人口を増加させることにより、地域の稼ぐ力の成長を促し地域経済を活性化させる。

【2】観光まちづくりの機運醸成  
 住民が愛荘町の地域資源の魅力を再認識し、愛着と誇りを醸成することで、観光まちづくりの機運を高めるとともに、地域コミュニティの希薄化を解消する。

【3】移住・定住の促進  
 観光振興により交流人口を増加させ、来訪者および地域住民等に町の魅力を伝えることで、移住・定住へつなげていく。

◆計画の実施期間◆  
 本計画の実施期間は、令和2年度(2020年度)から令和6年度(2024年度)までの5年間とします。  
 この実施期間内には、令和3年度(2021年度)には東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ関西、令和6年度(2024年度)には滋賀国スポーツとといったビッグイベントが開催されます。  
 このビッグイベントによる人の流れを愛荘町にも取り込むための観光施策の実現を図りたいと考えています。

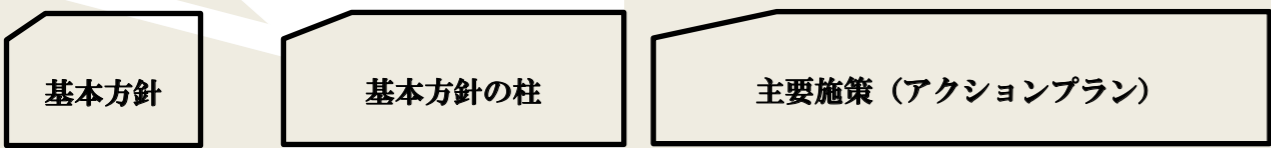
**計画推進体制**

**連携強化のための体制整備**  
 本計画で掲げた数値目標や主要施策(アクションプラン)の進捗状況について、観光に携わる各種団体や庁内関係各課が連携を密にしたネットワークの確立を図り、毎年度、確認・検証を図っていきます。

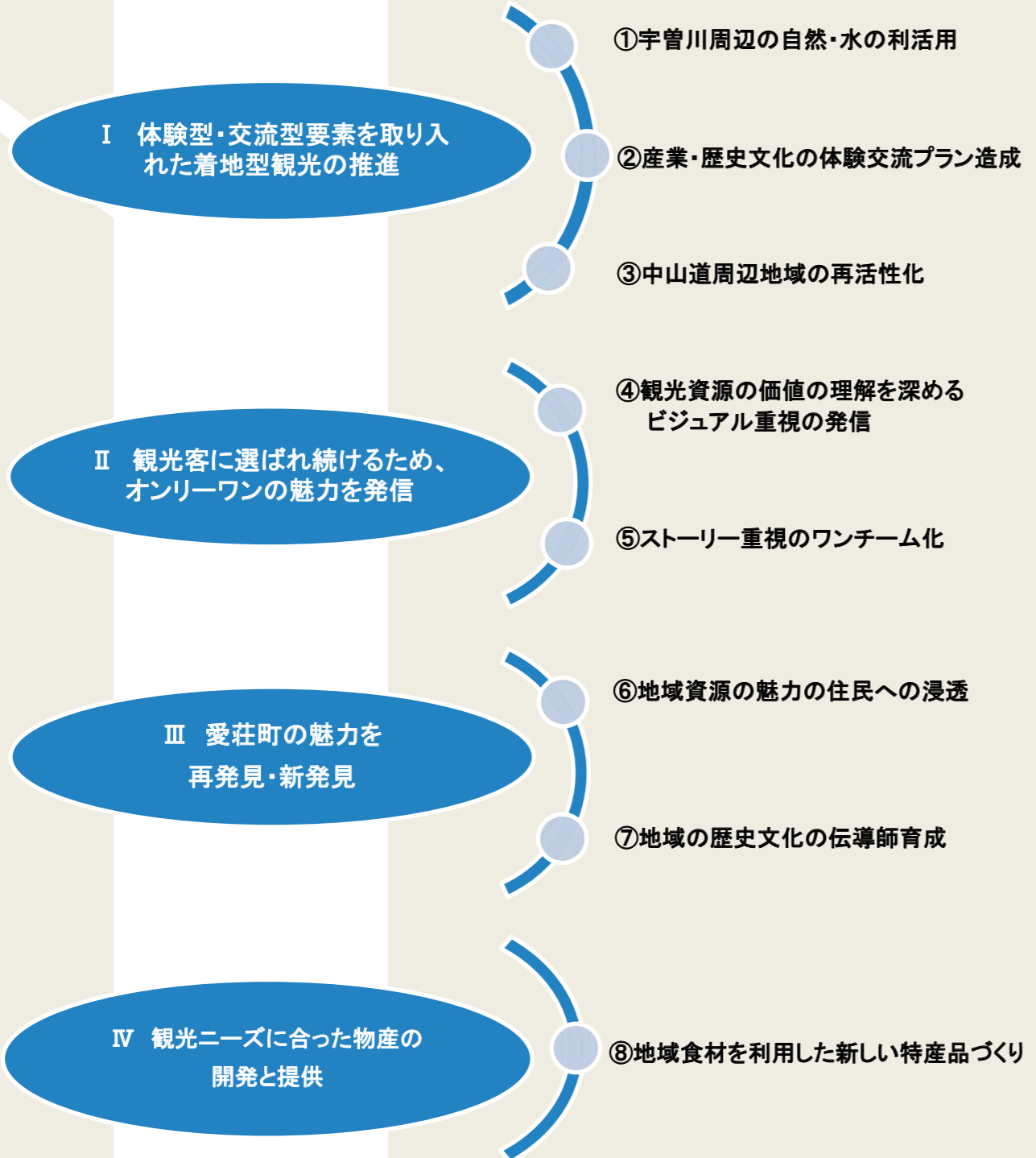
**観光協会の合併**  
 町内で統一した観光戦略の推進を図るため、計画期間内に現在町内に2つある観光協会の合併を成就させるとともに、合併後の観光協会が中長期的に安定して運営していけるよう、収益事業等を積極的に促進するなど、観光振興の中核的な立場として、その自立性を高めていきます。

**重点施策**  
 新規施策

# 計画の体系



『愛荘町でこんにちは 愛荘の魅力 再発見・新発見』



## 愛荘町観光の課題

- ・観光関連団体の合併並びに連携強化のための体制整備
- ・ニーズに対応した観光魅力の向上
- ・観光資源のネットワーク化による観光客の周遊・滞在の促進
- ・観光アクセス向上と受入環境整備
- ・観光行動を促す効果的な情報提供の推進
- ・産業連携による経済循環の促進
- ・住民参加による観光まちづくりの推進



## 基本方針

『愛荘町でこんにちは 愛荘の魅力 再発見・新発見』  
 ～地域資源の価値を再発見し、新たな魅力を新発見することで交流を生み出す～

- ① 体験型・交流型要素を取り入れた着地型観光の推進
- ② 観光客に選ばれ続けるため、オンリーワンの魅力を発信
- ③ 愛荘町の魅力を再発見・新発見
- ④ 観光ニーズに合った物産の開発と提供

### ●魅力を訴求するターゲット

愛荘町観光意識調査の結果を踏まえ、関西圏・東海圏にお住まいの方で、旅の決定権をもつ割合が高いとともに、情報発信力がある女性をターゲットに訴求活動を展開していきます。

◎主とする訴求ターゲット

関西圏・東海圏にお住まいの女性

### ●観光振興の目標

愛荘町の観光振興の推進を図り、施策効果の検証を行うための目標として、以下の指標を設定します。

◎観光入込客数（延べ）	405,000人 ⇒ 446,000人
◎観光消費額	247,066,430円 ⇒ 271,773,073円
◎愛荘町観光客 1人あたりの町内消費額	平均3,609円 ⇒ 平均3,800円
◎住民が「観光地として愛荘町に 魅力を感じる」割合	5.3% ⇒ 15.3%

※現状値（2018年〔平成30年〕）⇒ 目標値（2024年〔令和6年〕）

### 受入環境整備

愛荘町観光の課題を解消するための受入環境整備には時間と経費が必要です。以下の内容については長期的な視点とまちづくり全体の視点をもって各種関係団体が連携のうえ環境整備を目指して協議をしていきます。

- 1 観光客を誘導する案内表示の充実
- 2 歩行者空間・サイクリング空間の構築
- 3 二次交通や町内を周遊するアクセス手段の確保